勤怠

◆勤怠_機能拡張

NO	詳細	V5	対応内容	機能	内容
040_0001	○		機能拡張	全体	出退勤などの時間を24時以上（99:59まで）入力できるようにする。
040_0002			機能拡張	勤怠入力	出勤区分が「有休(半日)」、「有休（**時間）」、「代休（半日）」の場合、処理単位「日額」の手当金額はクリアしない。
040_0003			機能拡張	会社マスタ、勤怠入力	使用する出勤区分に「公休」を追加し、勤怠入力で使用可能とする。
040_0004	○	○	機能拡張	勤怠入力	パターン登録の「支給時間→請求時間の連動チェック」に応じて、支給出勤区分→請求出勤区分に反映する。
040_0005		○	機能拡張	勤怠実績集計表（案件・スタッフ）、勤怠実績集計表（スタッフ）	抽出結果に所属部門を追加する。
040_0006	○		機能拡張	帳票設定 勤怠データ出力 配置データ出力	勤怠データ出力,配置データ出力に以下の対応を行う。 ・明細行で31行以上の出力を可能とする。 ・明細行で補正の出力を可能とする。 ※帳票設定で、未就業日、補正の出力設定が可能となる。
040_0007	○	○	勤怠月報	勤怠データ出力 配置データ出力 勤怠月報(実績あり) 勤怠月報(実績なし)	令和2年4月以降の記載要綱に対応する ※業務に伴う責任の程度を追加
040_0008		○	機能拡張	配置データ出力 勤怠データ出力 シフト表(スタッフ別).xlsx シフト表(得意先別).xlsx 日別タイムシート.xlsx 作業日報.xlsx 勤怠月報(実績あり).xlsx 勤怠月報(実績なし).xlsx 警備日報.xlsx(※GuardExpressのみ)	印刷範囲外に以下の項目を追加する。 得意先区分1～5 申請備考1～3
040_0009			機能拡張	勤怠データ出力	テンプレートの「業務内容」に、案件入力の「業務詳細」を追加出力する。
040_0010			仕様変更	勤怠外部ファイル取込	取込対象項目に支給/請求確認チェックを含めない場合、支給/確認チェックOFFのデータはエラーとせずに取込可能とする。
040_0011			機能拡張	得意先マスタ、案件入力、勤怠入力	契約時間による丸め処理を得意先単位で設定可能とする。

◆NEO：勤怠_機能拡張					
NO	詳細		対応内容	機能	内容
040_0012		○	仕様変更	NEOホーム画面	画面名を「月間スケジュール」より「カレンダー」に変更する。 勤怠申請「する」のスタッフの場合、カレンダーに出勤区分名を表示する。
040_0013		○	機能拡張	NEO勤怠申請	スタッフマスタ-NEOタブで、「シフト照会＝する」「勤怠申請＝しない」「勤怠画像申請＝する」の場合でも、勤怠画像申請を行えるよう
040_0014	○	○	仕様変更	NEO勤怠申請	表示方法をタイムシート形式に変更する。
040_0015		○	仕様変更	NEO勤怠申請	NEO勤怠申請で「申請/申請する」がチェックOFFの場合、出勤区分を「未選択」で登録できるようにする。 タイムシート形式、勤怠日報形式どちらの場合でも登録可能とする。
040_0016	○	○	機能拡張	NEO勤怠申請	NEO勤怠申請で未来日の申請を可能とする。
040_0017		○	仕様変更	NEO勤怠申請	NEO勤怠申請-タイムシート画面で出勤区分、始業時間、終業時間が空欄の場合、 申請チェックを不活性とし申請を不可とする。
040_0018		○	仕様変更	NEO勤怠申請 勤怠入力	申請備考1～3を休み扱いの出勤区分でも入力可能とする。
040_0019	○	○	機能拡張	会社マスタ スタッフマスタ スタッフマスタのインポート、エクスポート	勤怠打刻の表示・非表示をスタッフごとに設定可能とする。
◆PARTNER：勤怠_機能拡張					
NO	詳細		対応内容	機能	内容
040_0020			機能拡張	PARTNER勤怠承認	予定・申請・実績時間を表示できるようにする。
040_0021		○	仕様変更	PARTNER勤怠承認	PARTNER勤怠承認の「状況の説明」から不要項目である「再申請」の説明文を削除する。

フィーチャーフォンにつきましては、キャリアによって順次使用できなくなります。
そのため、フィーチャーフォン上でのASP新機能につきましては動作が保証できかねますので、予めご了承ください。
ご利用いただいているバージョンによって、一部すでに実装されている機能も含まれております。ご了承ください。

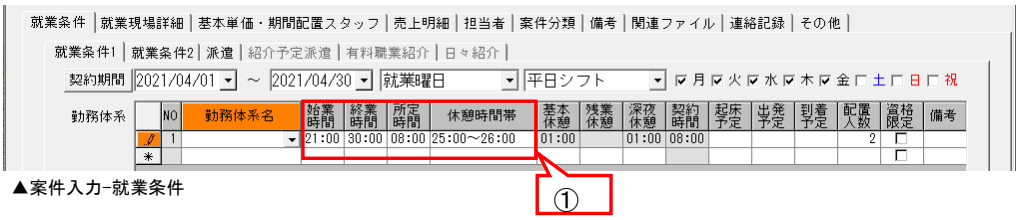
NO	040_0001
内容	出退勤などの時間を24時以上（99:59まで）入力できるようにする。

[1] 入力系機能

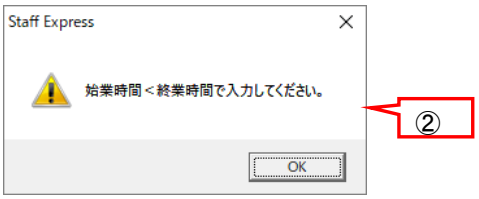
① 00:00～99:59まで入力可能とする。
② 範囲指定する場合、開始（始業）時間＜終了（終業）時間とする。
③ 入力チェックは、処理ボタン押下時に行う。
④ 24時以上の勤怠データを処理する場合、就業日はその勤怠の作業日（就業日）が利用される。

（例）	就業日	始業時間	終業時間	基本時間	
対応前	2018/09/01	01:00	06:00	05:00	09/01として処理する。
対応後	2018/08/31	25:00	30:00	05:00	08/31として処理する。

※「00:00～99:59まで入力可能」の設定を解除すると、対応前の表示に戻ります。



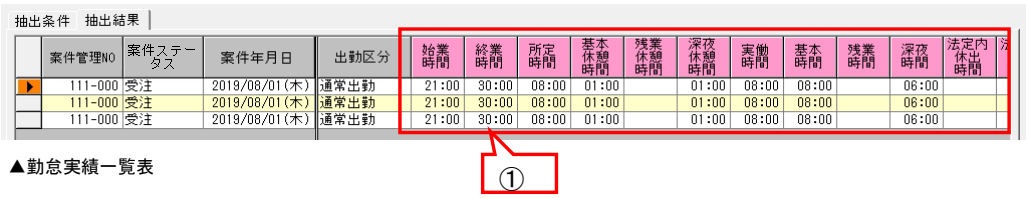
▲案件入力-就業条件



▲登録時の中断メッセージ

[2] 出力系機能

① 時間が24時以上の場合、24:00～99:59書式で出力する。



▲勤怠実績一覧表

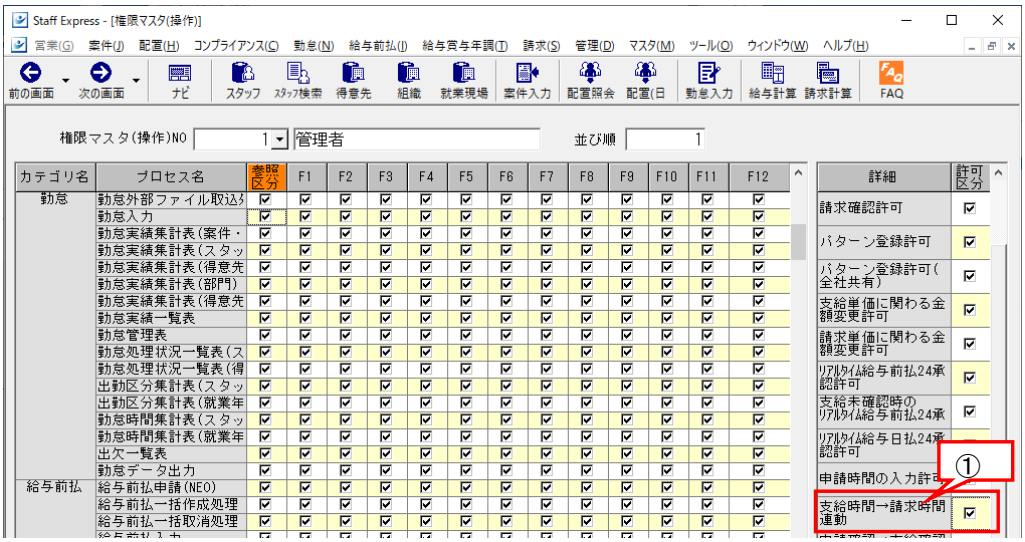
【注意】
24時以上の入力を行う場合は、システムの設定変更が必要となります。（弊社作業）
ご希望される場合は、弊社コールセンターまでお問い合わせください。

▼ 関連機能

・ 各種入力画面　　・ 各種出力画面　　・ 各種帳票

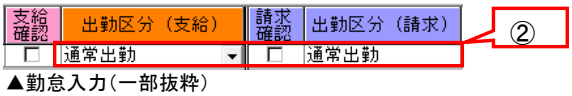
NO	040_0004
内容	パターン登録の「支給時間→請求時間の連動チェック」に応じて、支給出勤区分→請求出勤区分に反映する。

◎ 勤怠入力で、支給出勤区分→請求出勤区分を連動する。



▲権限マスタ(操作)

①の「連動」にチェックが付いている場合、②の「出勤区分(支給)」で選択した出勤区分を、「出勤区分(請求)」に連動する。



▲勤怠入力(一部抜粋)

以下表の通り、連動する。

使用する出勤区分	支給出勤区分	請求出勤区分	
通常出勤	通常出勤	通常出勤	
欠勤	欠勤	欠勤	
有休(1日)	有休(1日)	欠勤	
有休(1日)以外	有休(1日)以外	通常出勤	
調整	調整	調整	
法定内休出	法定内休出	法定内休出	(※)
法定外休出	法定外休出	法定外休出	(※)
特休	特休	空欄	
代休	代休	代休	
代休(半日)	代休(半日)	通常出勤	
振休	振休	振休	
法定内休日	法定内休日	法定内休日	
法定外休日	法定外休日	法定外休日	
公休	公休	公休	

(※)レンジ請求を使用する設定の場合は、「通常出勤」となる。

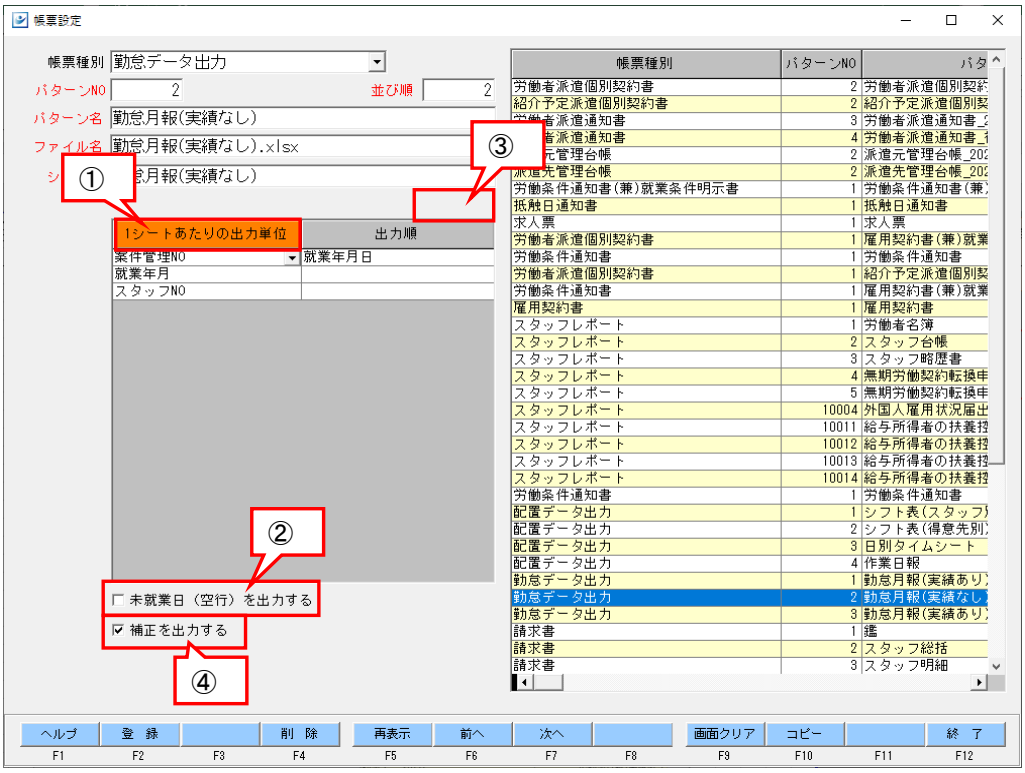
▼ 関連機能
- 勤怠入力

連動させたくない場合は、[パターン登録]より専用のパターンを追加してください。
入力時にパターンを切り替えることで、連動する/しないの切替が楽に行えます。

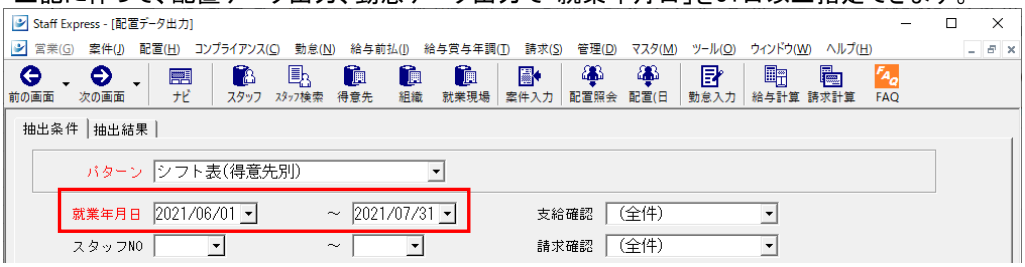
NO	040_0006
内容	勤怠データ出力,配置データ出力に以下の対応を行う。 ・明細行で31行以上の出力を可能とする。 ・明細行で補正の出力を可能とする。 ※帳票設定で、未就業日、補正の出力設定が可能となる。

◎ 勤怠データ出力、配置データ出力で帳票を出力した際、
明細行で「31行目以降の出力」と「補正行の出力」を可能とします。

① 「出力単位」から「1シートあたりの出力単位」に項目名を変更
② 「未就業日（空行）を出力する」のチェックボックスを追加
⇒ ②が表示される条件
・ 「1シートあたりの出力単位」に「就業年月」かつ「スタッフNO」が存在する場合
③ ②が表示される条件を満たしていない場合、「1ページあたりの明細数」を表示
④ 「補正を出力する」のチェックボックスを追加



上記に伴って、配置データ出力、勤怠データ出力で「就業年月日」を31日以上指定できます。



②④のチェックボックスを追加したことにより、以下標準テンプレートの明細行は
31行までではなく、32～40行目を追加しています。
・ シフト表（スタッフ別）
・ シフト表（得意先別）
・ 勤怠月報（実績あり）

追加した32～40行目はExcel上で非表示としていますが、必要に応じて行を表示して
ご利用ください。

NO	040_0007
内容	令和2年4月以降の記載要綱に対応する ※業務に伴う責任の程度を追加

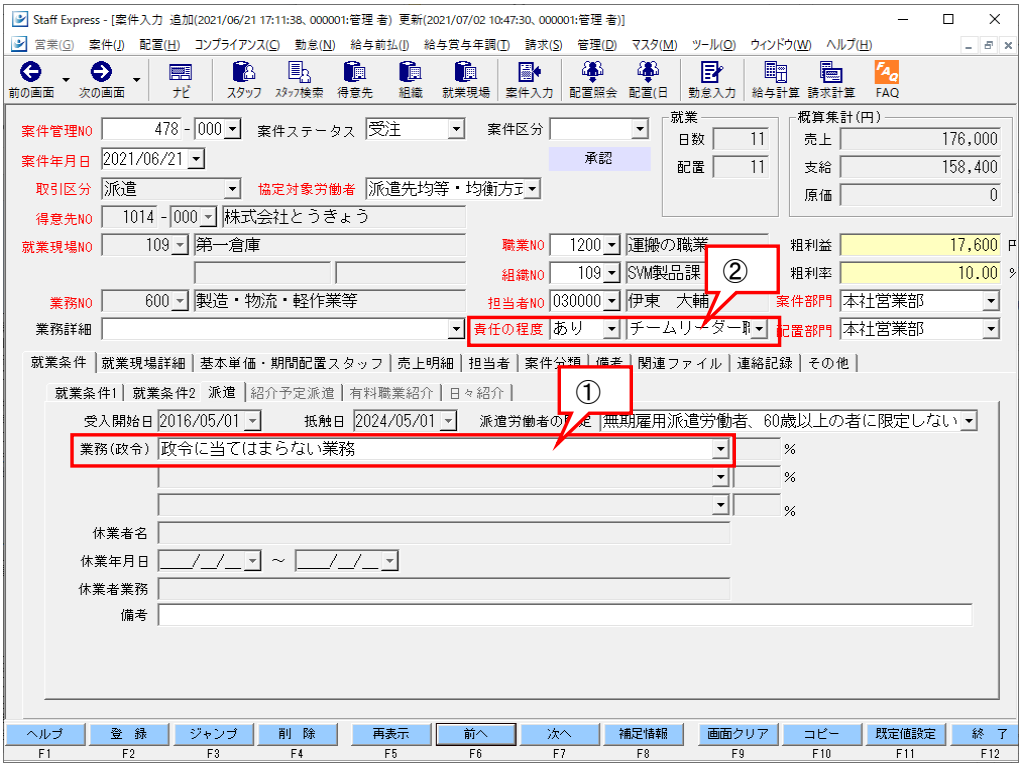
◎ 勤怠月報(実績あり)/(実績なし)(タイムシート)に業務に伴う責任の程度を追加しました。

① 「業務(政令)」の出力を追加しました。
「業務(政令)」は「業務内容」欄の末尾に出力されます。

② 「業務に伴う責任の程度」の出力欄を新設しました。
「責任の程度の有無」「責任の程度」が出力されます。

勤怠月報(実績あり)

案件入力



・ 「業務(政令)」は「案件入力」にて選択した一番上のもののみが反映されます。
2つ目以降を表示したい場合は、テンプレートの修正を行う必要があります。

NO	040_0007
内容	令和2年4月以降の記載要綱に対応する ※業務に伴う責任の程度を追加

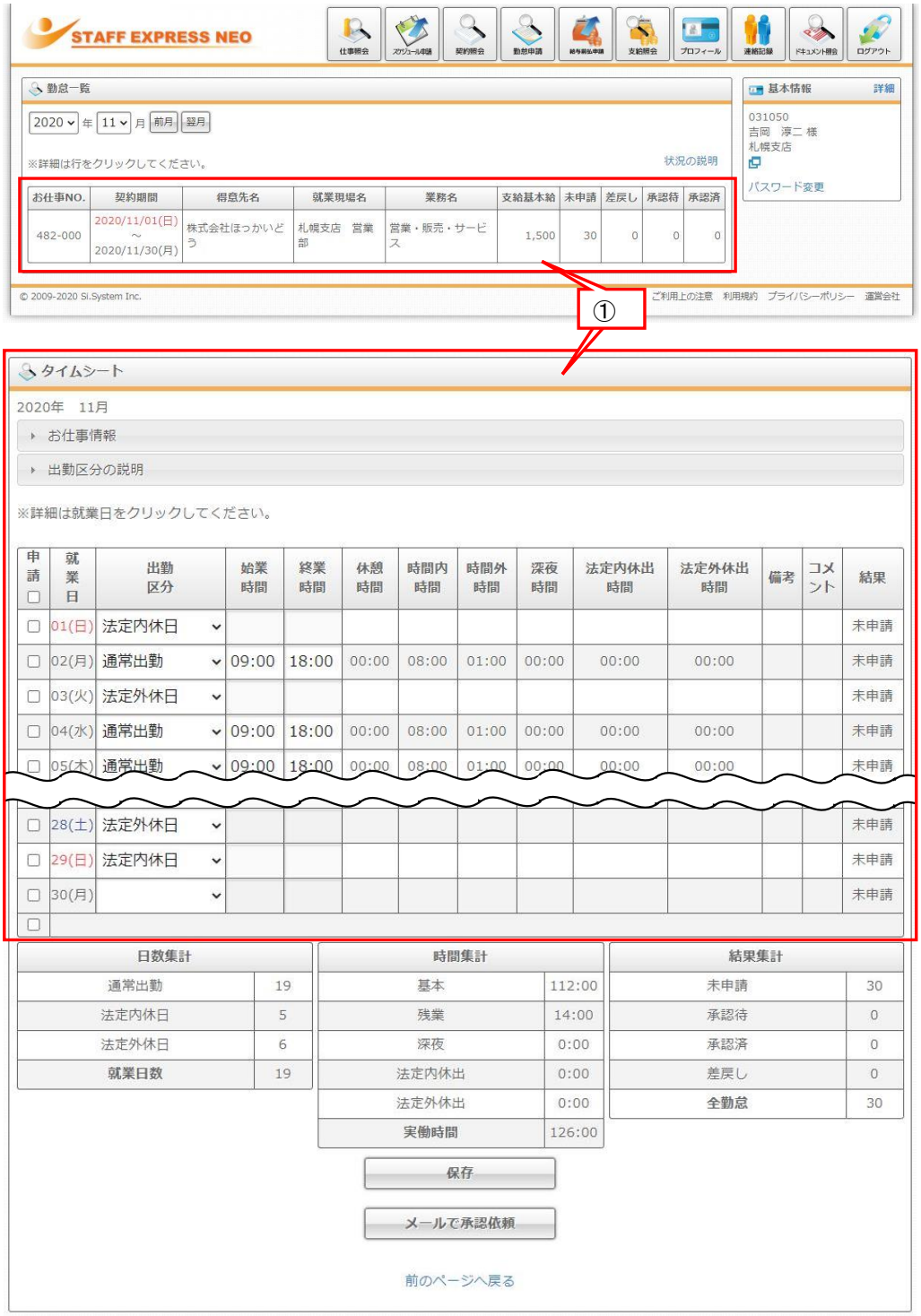
①②に伴って印刷範囲外に対象項目を出力します。
追加の詳細は以下の表をご確認ください。

項目名		セル位置
案件データ	業務(政令)NO1	EN555
案件データ	業務(政令)名1	EN556
案件データ	業務(政令)割合1	EN557
案件データ	業務(政令)NO2	EN558
案件データ	業務(政令)名2	EN559
案件データ	業務(政令)割合2	EN560
案件データ	業務(政令)NO3	EN561
案件データ	業務(政令)名3	EN562
案件データ	業務(政令)割合3	EN563
案件データ	責任の程度の有無	EN564
案件データ	責任の程度	EN565

▼ 関連機能
・ 勤怠データ出力

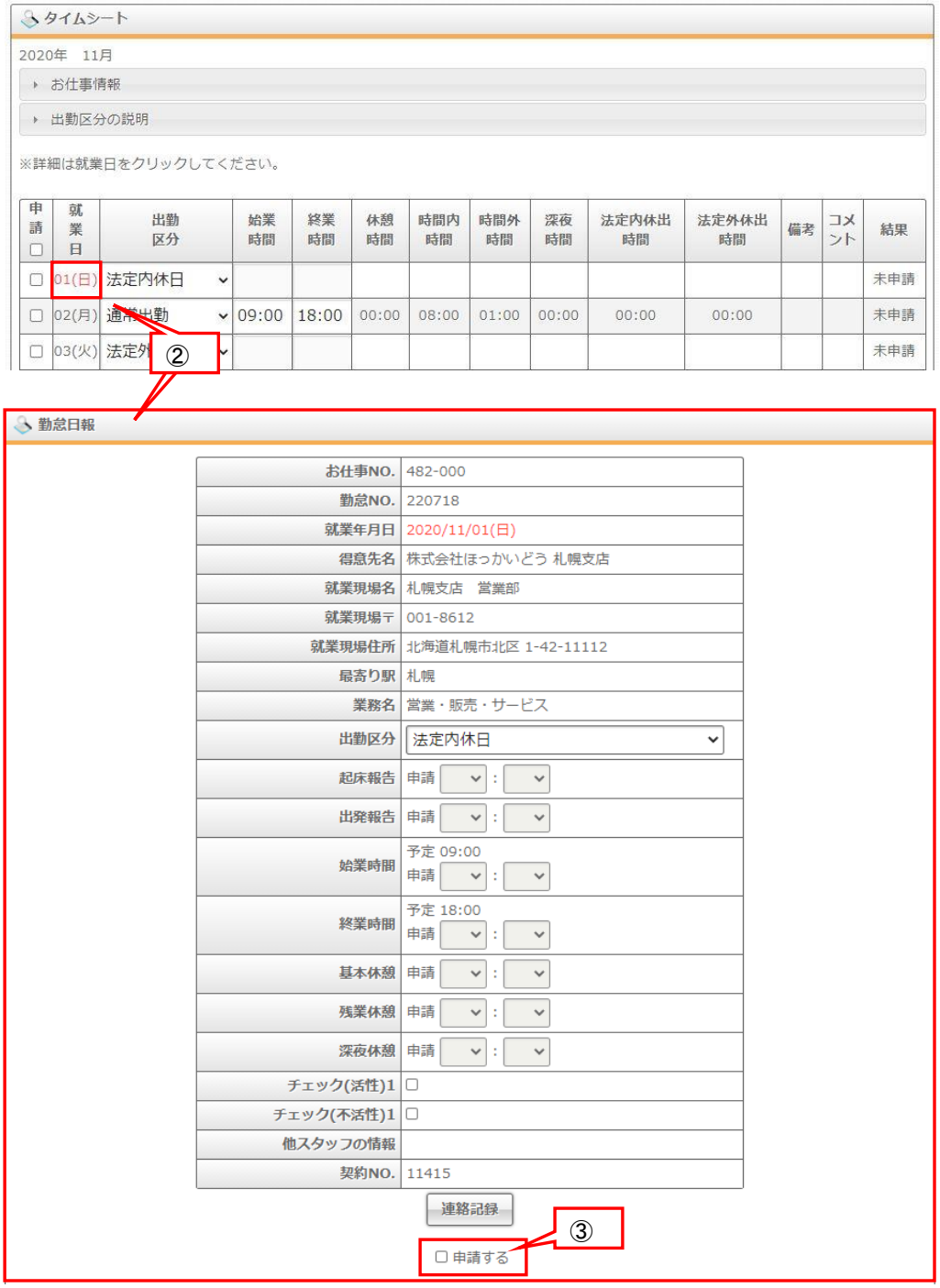
NO	040_0014
内容	表示方法をタイムシート形式に変更する。

[1] NEO勤怠申請をタイムシート形式に変更する。
① NEO勤怠申請の表示をタイムシート形式に変更。
② タイムシートの「就業日」をクリックした際に、勤怠日報画面に遷移する。
③ 勤怠日報画面に「申請する」のチェックボックスを追加。



・ 配置されている日にちのみではなく、各スタッフの契約終了日まで一覧で表示されるようになりました。

NO	040_0014
内容	表示方法をタイムシート形式に変更する。



・　入力途中のものがエクスプレスに取り込まれることを防止するため、勤怠日報画面から申請をしたい場合は「申請する」のチェックボックスにチェックを入れてから「申請」ボタンを押下する必要があります。

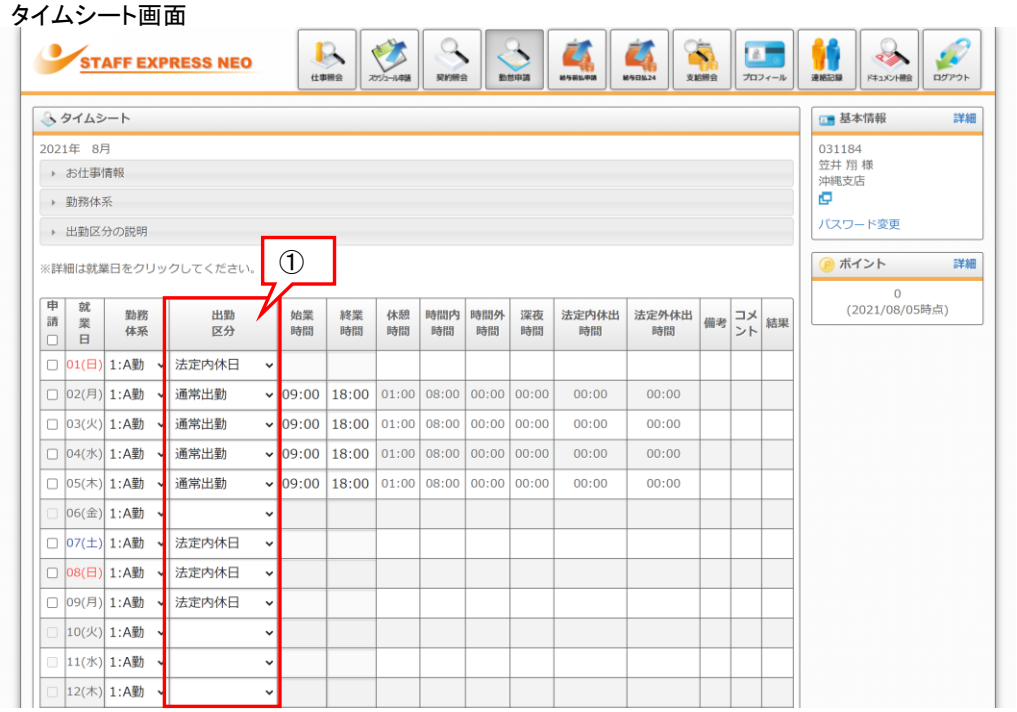
▼ 関連機能
・　NEO勤怠申請

NO	040_0016
内容	NEO勤怠申請で未来日の申請を可能とする。

◎ NEO勤怠申請で、未来日の申請を可能とします。

[1] 未来日の場合、休みに該当する出勤区分を選択可能とします。

・ タイムシート画面



① 未来日の場合は以下の休みに該当する出勤区分の選択、申請を可能とします。
・欠勤
・特休
・代休、代休(半日)
・振休
・公休
・法定内休日
・法定外休日

・有休(1日)、有休(半日)、有休(〇時間)

※有休残日数を超えて「有休(**)」を登録している場合、申請時にエラーとなります。

NO	040_0016
内容	NEO勤怠申請で未来日の申請を可能とする。

・ 勤怠日報画面

① 「出勤区分」の申請項目を追加します。
未来日の場合は以下の休みに該当する出勤区分の選択、申請を可能とします。
・欠勤
・特休
・代休、代休(半日)
・振休
・公休
・有休(1日)、有休(半日)、有休(〇時間)
・法定内休日
・法定外休日

※有休残日数を超える場合は、出勤区分に「有休(**)」が表示されません。

② 未来日の場合、時間報告の予定時間を申請可能とします。
※ [マスタ]-[名称マスタ]-[案件]タブの「時間報告」の名称を登録する必要があります。
申請した予定時間は「時間報告1～3」で登録している項目に反映されます。

③ 未来日の場合でも、チェック区分を表示します。
※ [マスタ]-[名称マスタ]-[勤怠]タブの「チェック(活性)」「チェック(不活性)」の名称が表示されます。
※ NEO勤怠申請から申請されたチェック区分の値は
[勤怠]-[勤怠入力]の「申請確認」にチェックを入れた際に反映されます。

名称マスタで登録したチェック区分で、どの項目をNEOに表示するかは
弊社にて設定変更が必要なため、サポートセンターまでご連絡ください。

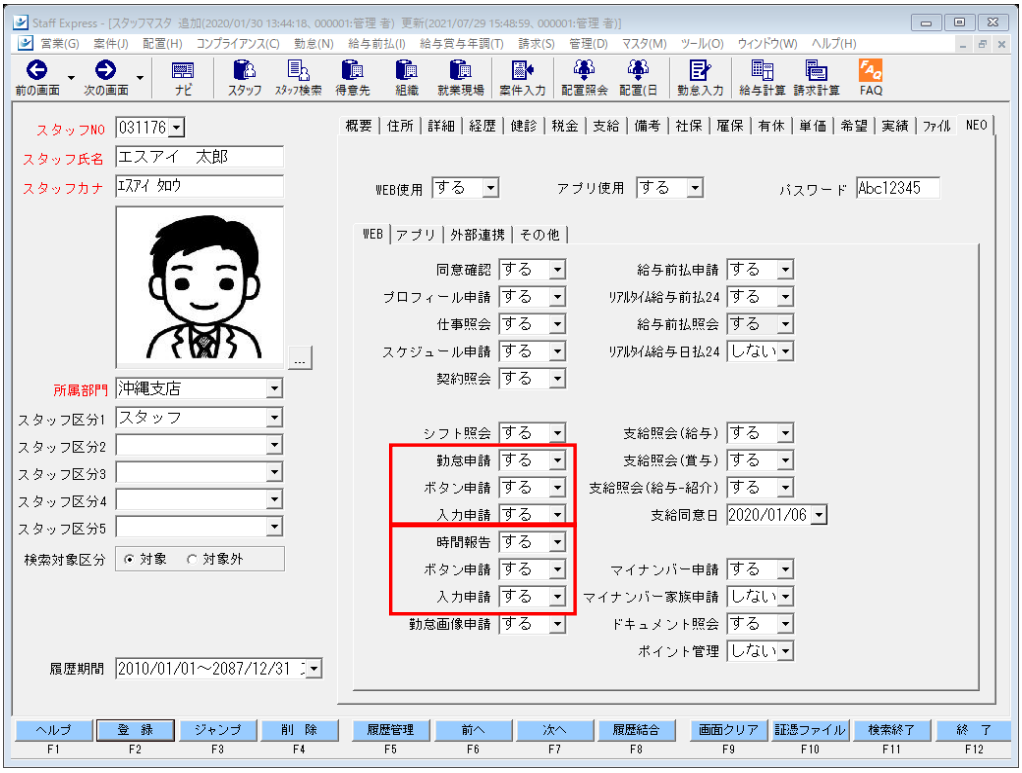
NO	040_0019
内容	勤怠打刻の表示・非表示をスタッフごとに設定可能とする。

◎ 勤怠打刻ボタンの表示・非表示をスタッフ毎に指定可能とします。

[1] スタッフマスタに勤怠申請・時間報告のボタン申請、入力申請の項目を追加します。
[2] ダブルワークで打刻ボタンが複数表示される場合、就業現場名、終業時間の表示を追加します。

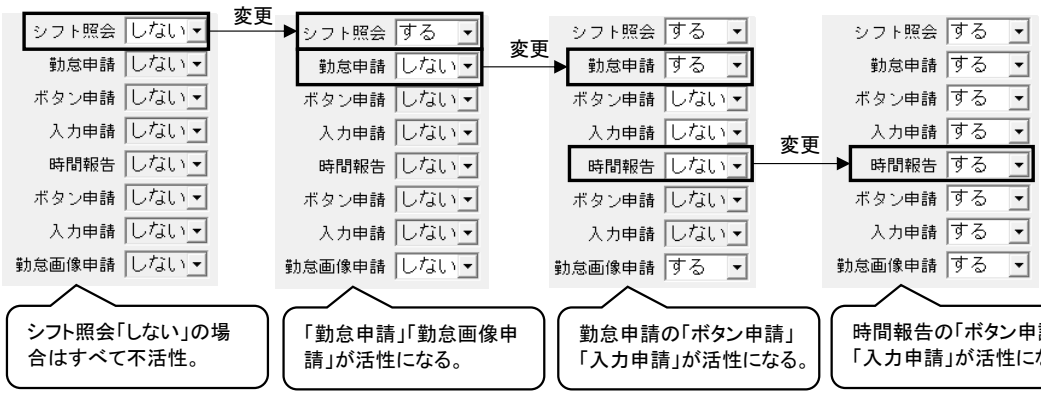
[1] スタッフマスタに勤怠申請・時間報告のボタン申請、入力申請の項目を追加します。

① [スタッフマスタ]-[NEO]タブの項目位置を変更します。
「時間報告」の選択肢、「ボタン申請」「入力申請」の選択肢を追加します。



NEO勤怠申請をご利用のお客様で、
バージョンアップ前にNEOで時間報告ボタン、勤怠報告ボタンを使用していなかった場合、
「ボタン申請」が「しない」で変更不可の状態となります。
時間報告ボタン、勤怠報告ボタンを使用したい場合は弊社にて設定が必要のため
サポートセンターまでご連絡ください。

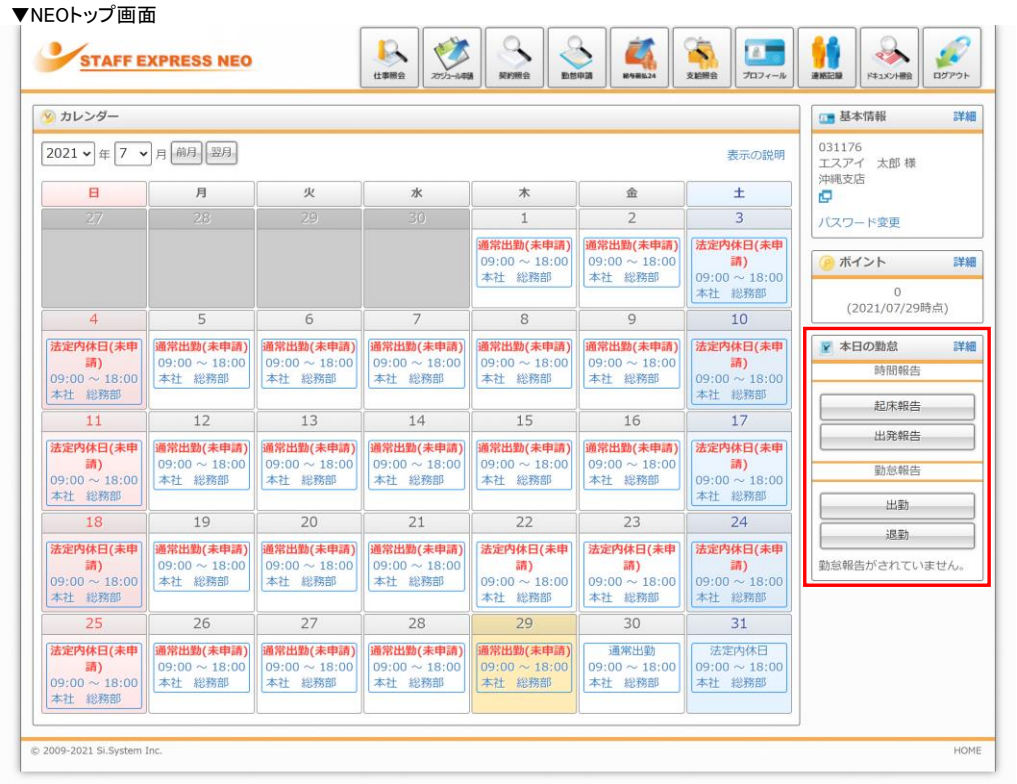
「シフト照会」～「勤怠画像申請」の選択肢は、以下のように制御が行われます。



NO	040_0019
内容	勤怠打刻の表示・非表示をスタッフごとに設定可能とする。

② ①でボタン申請「する」とした場合、NEOで時間報告ボタン、勤怠報告ボタンが表示されます。
また、入力申請「する」とした場合、NEO勤怠申請メニューより入力申請が可能となります。

▼NEOトップ画面



▼NEO勤怠申請-タイムシート画面

▼NEO勤怠申請-勤怠日報画面

NO	040_0019
内容	勤怠打刻の表示・非表示をスタッフごとに設定可能とする。

[スタッフマスタ]-[NEO]タブの設定例としては以下となります。

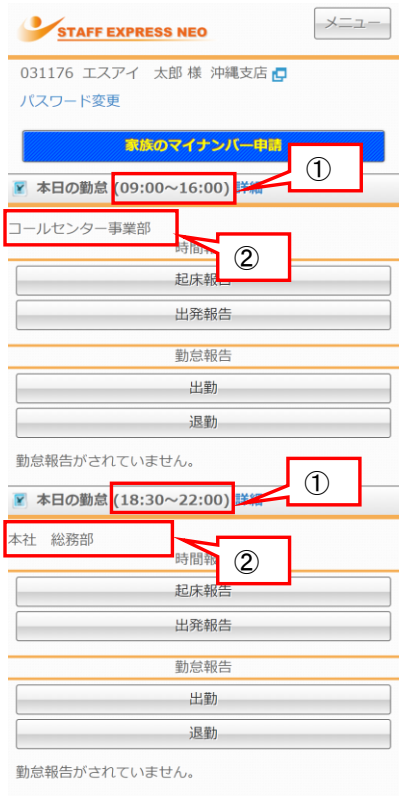
NO	スタッフマスタ設定		NEO		
			時間報告ボタン	勤怠報告ボタン	入力申請
1	シフト照会 勤怠申請 ボタン申請 入力申請 時間報告 ボタン申請 入力申請	する する する しない しない しない しない	○	×	×
2	シフト照会 勤怠申請 ボタン申請 入力申請 時間報告 ボタン申請 入力申請	する する しない する しない しない しない	×	×	○
3	シフト照会 勤怠申請 ボタン申請 入力申請 時間報告 ボタン申請 入力申請	する する する する しない しない しない	○	×	○
4	シフト照会 勤怠申請 ボタン申請 入力申請 時間報告 ボタン申請 入力申請	する する する する する する する	○	○	○

③ [スタッフマスタのインポート]、[スタッフマスタのエクスポート]、[スタッフ検索]に以下項目を追加します。
- 「NEO(勤怠申請-ボタン申請)」
- 「NEO(勤怠申請-入力申請)」
- 「NEO(勤怠時間報告)」
- 「NEO(勤怠時間報告-ボタン申請)」
- 「NEO(勤怠時間報告-入力申請)」

対象箇所
- [ツール]-[インポート]-[スタッフマスタのインポート]の「取込可能な項目名」
- [ツール]-[インポート]-[スタッフマスタのインポート]の「出力可能な項目名」
- [マスタ]-[スタッフ検索]-[充実検索]タブの「検索条件編集領域」内の「項目」(「種類:NEO」を選択した場合)

NO	040_0019
内容	勤怠打刻の表示・非表示をスタッフごとに設定可能とする。

[2] ダブルワークで打刻ボタンが複数表示される場合、就業現場名、終業時間の表示を追加します。



① 打刻ボタンが複数表示される場合、
終業時間の表示を追加します。
※スマホ表示のみ

② 打刻ボタンが複数表示される場合、
就業先名1～3を表示します。

▼ 関連機能

- スタッフマスタ
- スタッフ検索
- スタッフのインポート
- スタッフのエクスポート
- NEO時間報告ボタン、勤怠報告ボタン
- NEO勤怠申請

▼ 追加・変更される項目

画面名	変更前	変更後
スタッフマスタ	なし	勤怠申請-ボタン申請
	なし	勤怠申請-入力申請
	なし	時間報告
	なし	時間報告-ボタン申請
	なし	時間報告-入力申請
スタッフのインポート スタッフのエクスポート スタッフ検索	なし	NEO(勤怠申請-ボタン申請)
	なし	NEO(勤怠申請-入力申請)
	なし	NEO(勤怠時間報告)
	なし	NEO(勤怠時間報告-ボタン申請)
	なし	NEO(勤怠時間報告-入力申請)